

ここが聞きたい！



答弁中の中嶋町長

通学路の安全対策は

対策工事を実施

問 新年度を迎え新入生が入学して来ることもあり、通学路の安全対策についてお伺いします。

文部科学省、国土交通省、警察庁が連携して、全国の公立小学校および公立特別支援学校小学部の通学路について、交通安全の確保に向けた緊急合同点検を実施されたことに聞

いていますが、具体的にどのような改善をされるかお聞かせ下さい。

次に、東中学校の車の進入路についてですが、生徒を送迎する車で、特に雨の日の朝など傘をさした生徒の脇を通る車に危険を感じるという話も聞いています。このことをどうお考えかお伺いします。

答 中嶋町長

昨年7月、通学



柴田 真人 議員

路における交通安全の確保を図るための緊急合同点検および町行政部局と町内3小学校の代表者による合同会議を実施し、危険箇所の取りまとめを行いました。その後、県土整備事務所・柏屋警察署参加のもと、

22カ所の危険箇所の対応策を決定し、2カ所については24年度の対策工事で完了しています。残り20カ所のうち町が直接工事を行うのは16カ所で、24年度補正予算の社会資本整備総合交付金による、須恵、柏屋線他通学路交通安全対策工事により9カ所を実施予定です。残り7カ所については、平成25年度の交通安全事業予算等で順次対応していきます。

対応の内容は、横断歩道および信号機の設置（公安委員会）・防護柵や歩行スペースの確保・自動車の減速を促すカラー舗装・注意喚起の標識や路面標示などです。東中学校の車の進入路については、内原、大谷線の道路工事が完了次第、進入道路の変更を考えていましたので、植木守母神社側からの進入に変更する予定です。



雨の日の通学の様子（第一小学校）

校区コミュニティの方向性は

自治コミュニティに転換

問 コミュニティの新体制として、4月より事務局長を置くように予定されていますが、コミュニティでの新事業（活動）の推進を計画しているのですか。事務局は3人体制となりますが、事務局長選定、任命の経緯と今後のコミュニティの方向性等について質問します。

答 中嶋町長

行政区間の格差の拡大、市町村合併の問題等を踏まえ、まちづくりのエリアを考えた新しいコミュニティを作るという目的で、平成21年にまちづくり課を作り、社会教育課で行っていた教育コミュニティから自治コミュニティに進めていこうと方向転換をしました。

新たなコミュニティの役割

は、町全体もしくは区単位で困難なものを小学校区で考えていこうというものです。

現在のコミュニティ主事2名に加え、行政の仕組みや地域の実情に精通した事務局長を専任で配置し、事業の充実のためコーディネーター役

となつてもらうことを期待しています。

25年度の事業として、第一小学校の校庭内にコミュニティセンターと学童保育所を合築した施設を建設する計画をしています。将来的にはコミュニティが学童保育所を運

営することも考えています。事務局長の選定任命の件は、会長と協議をし、リストアップした候補者をコミュニティの方で選定していただくという話をしております。ただし、候補者については事前に打診をしています。



今村 桂子 議員



すこやか秋まつりの様子（第一小校区）